

ステップアップ 畜産！

西部農業事務所家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）
〒370-0074 高崎市下小島町 233
TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260

～記事～

- ★渡り鳥飛来シーズンを迎えるにあたっての HPAI 防疫対策
- ★暑熱対策に取り組みましょう！
- ★家畜伝染病予防法施行規則等の改正案について
- ★飼養衛生管理に係る立ち入り調査等の協力をお願い
- ★鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました
- ★第 9 期（令和 7 年度）家畜防疫互助基金支援事業のご案内
- ★大雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう
- ★前橋市内に消毒ポイントを設置しました

★渡り鳥飛来シーズンを迎えるにあたっての HPAI 防疫対策

《2024～2025 年シーズンにおける HPAI 発生に係る疫学調査報告書より》

昨シーズンの農場における高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 発生は、10 月 17 日の北海道での初事例以降、2025 年 2 月 1 日の最終発生までに 14 道県 51 事例が確認されました。5 シーズン連続での発生となりました。発生事例のうち約 6 割を愛知県、岩手県、千葉県の家きん集中地域における連続発生が占めていました。また、19 事例が過去に発生を経験している農場での再発でした。

農場へのウイルスの侵入については、野鳥の感染が広い範囲で起こったことのほか、続発事例においては防疫作業時に羽毛や塵埃が飛散しやすいことがリスクとなった可能性が考えられました。

家きん舎へのウイルスの侵入経路については、作業着・長靴の交換、手指消毒の不徹底等や、家きん舎の壁面破損の修繕、家きん舎及び関連施設における防鳥ネットの設置等の不備があり、これらが感染リスクとなった可能性が考えられました。また、基本的な衛生管理が実施されている農場においても発生が確認されており、これらの家きん舎への侵入経路については、ウイルスに汚染された羽毛、塵埃等の様々な可能性についても検証する必要があると考えられました。

《疫学調査チーム提言より》

近年の国内及び世界各地での HPAI の発生状況等から、本年も秋以降、国内に鳥インフルエンザウイルスが侵入する可能性が考えられます。また、6 月中旬に北海道の野鳥で HPAI 陽性事例が確認されるなど、野鳥における感染確認期間の長期化を考慮すると、春以降も家きんでの発生が継続するおそれがあります。

つきましては、**渡り鳥の飛来が本格化する前の9月中には防疫体制を整備し、発生予防対策の徹底**をお願いします。

従来から行っている日常の点検・確認に加えて、以下の発生予防対策を参考にし、普段は目の届きにくい場所の対策もシーズンを迎える前に実施しましょう。

発生予防対策 ～疫学調査チームの提言より～

早期発見・早期通報の徹底

シーズン中は毎日の健康観察を注意深く実施。

少しでも様子が異なるときは躊躇せず家保へ連絡。

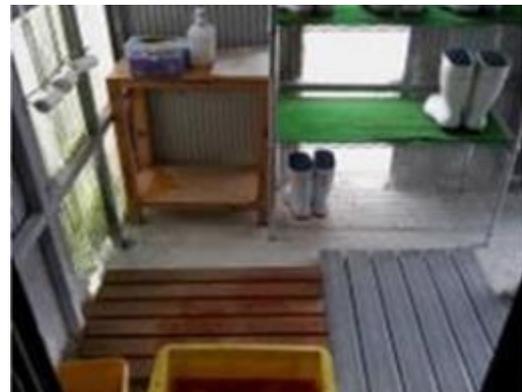
誘導換羽中でも誘導換羽の影響と即断しない。



鶏舎へのウイルス侵入対策

衛生管理区域に入る際は、必ず作業着や長靴の交換、手指消毒を行う。

更衣・消毒は交差のない動線で実施。境界線は明確に。



作業従事者のほか、**外部事業者**の指導・対策を徹底。

野生動物対策

堆肥舎などへの防鳥ネットの設置。

農場内の整理・整頓。

農場周辺の草刈りやため池の水抜き・テグスの設置。

一見隙間のなさそうな家きん舎でも入念に**侵入口**を点検。



入気口の対策

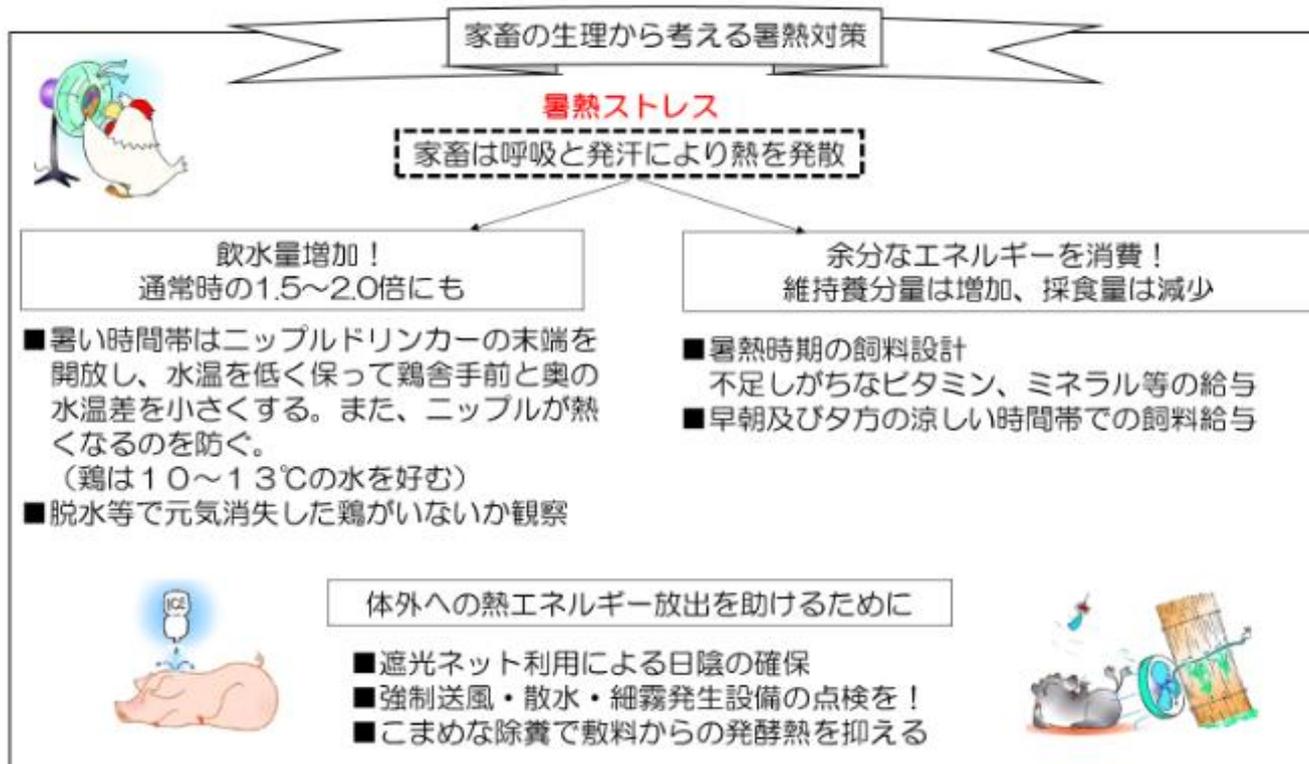
入気口へのフィルターや不織布の設置、細霧装置による消毒薬の噴霧等の対策の検討。

少なくともシーズン中は、**塵埃によるウイルス侵入対策**を検討。



★暑熱対策に取り組みましょう！

—生産性の維持と鶏の健康を守りましょう—



—生産者の皆様においても、熱中症に十分ご注意ください—

ヒトでの主な熱中症の症状

- めまいや顔のほてり
- 筋肉のけいれん、ひきつけ
- 体のだるさや吐き気
- ふらふらとまっすぐ歩けない
- ふいてもふいても汗がでる、もしくはまったく汗をかいていない
- 体温が高くて皮ふを触るととても熱い、皮ふが赤く乾いている
- 声をかけても反応しなかったり、おかしい返答をしたりする
- 自分で上手に水分補給ができない

★熱中症を疑ったときは、すぐに涼しい場所に移動し、
身体を冷やして体温を下げましょう

★症状が重いときは、医療機関への相談や救急車を呼びましょう



★家畜伝染病予防法施行規則等の改正案について

現在、家畜伝染病予防法施行規則等の改正が検討されています。家きん飼養者のみなさまに関わる改正点を次にまとめました。

主な改正点
①家畜の種類にエミューを追加
②大規模所有者に対して以下の実施を規定 <ul style="list-style-type: none">・ウインドレス鶏舎やその周辺の塵埃対策・農場の分割管理の導入の検討・農場による防疫措置の実施体制（人員、資機材等の準備）について対応計画に追記
③過去に複数の発生があった地域を「大臣指定地域」とし、消毒薬の備蓄等の準備や野鳥誘因防止対策の実施及び検討を規定
④農場の分割管理に取り組む場合は、家保による確認・指導を受ける

★飼養衛生管理に係る立ち入り調査等の協力をお願い

飼養衛生管理基準の遵守状況の確認をするため、7月から立入検査をさせていただいております。また、10月からは、HPAI モニタリング検査へのご協力もお願いすることがあります。

日程につきましては、家畜保健衛生所から連絡をいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。



★鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました

7月22日に鳥インフルエンザ発生時の捕鳥作業演習を実施し、西部農業事務所、畜産協会、吾妻農業事務所、JA 甘楽富岡職員の計18名が参加しました。通常は職員も鶏に触れる機会は防疫上の理由でほとんどありませんが、生きている鶏の捕鳥を行い、万が一の発生に備えた演習となりました。鳥インフルエンザに対する情報共有を行い、職員一人ひとりがより一層、防疫対策への理解を深めることができました。



★第9期（令和7年度）家畜防疫互助基金支援事業のご案内

（一社）日本養鶏協会から「第9期家畜防疫互助基金支援事業」のご案内がありました。概要は以下のとおりです。

《事業の概要》

鶏、うずら、あひる、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥及びだちょう（以下家きん）を飼育する生産者の方は、どなたでも事業に参加できます。ただし、契約締結時点で家畜伝染病予防法に基づき、移動制限等が実施されている区域の生産者は加入できません。

加入者は、飼養衛生管理基準の遵守が必要となります。

対象となる家きんの家畜伝染病は、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザです。

《生産者積立金の単価》

家きんの種類・区分ごとに生産者積立金の単価の設定が異なります。

《互助金の種類》

【経営支援互助金】法に基づき殺処分された家きんを飼養していた農場に新たに家きんを導入したときに交付されるもの

【焼却・埋却等互助金】殺処分した家きんを自らが焼却・埋却等し、その経費を自らが負担したときに交付されるもの（こちらは経営再建が条件ではありません）。

手数料の変更等がありますので、詳細は日本養鶏協会HP等を御覧ください。

《お問合せ》

一般社団法人日本養鶏協会（事業実施主体）

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519

<http://www.jpa.or.jp/prevention/index.html>

★大雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう

家畜の排せつ物は『家畜排せつ物の管理の適正化及び利用促進に関する法律（家畜排せつ物法）』により、適正な管理が義務付けられています。特にこの時期は県内でも記録的短時間大雨情報が発表されるなど、雷雨等による集中豪雨が多発することも予想されます。大量の雨水が堆肥処理施設や畜舎周辺に流れ込んだ場合、周辺の道路や田畑、河川などへ家畜ふんや汚水が流出する重大事故が起こる可能性が高まります。家畜排せつ物の適正な管理について、より一層注意が必要です。

流出を未然に防ぐために、

○最新の気象情報を常にチェックする

○施設の点検、補修を行う

○畜舎や堆肥舎周辺の清掃を行い、流出する可能性があるものを減らす

○大雨時の水の流れ、リスクを考慮した防水・排水対策を行う

などの対策が必要です。

日頃から家畜排せつ物の適正管理を意識し、流出防止のための再確認をお願いします。

★前橋市内に消毒ポイントを設置しました

本年1月以降、群馬県内の養豚場で豚熱が続けて4例発生しました。また、鳥インフルエンザの発生リスクも依然として高い状態にあります。

このような状況を踏まえ、県では発生地域の赤城南面に消毒ポイントを設置しました。

赤城方面を通過する場合は、こちらの消毒ポイントに立ち寄り、車両を消毒していただくようお願いします。※畜種は問いません。

●設置場所：JA 前橋市北部支所（前橋市富士見町田島 259-1）

●実施期間：令和7年6月27日～令和8年3月13日（6：00～18：00）



西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233
TEL 027-362-2261 (緊急時 24 時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。